

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年8月12日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年8月12日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【プロセス主建屋1階南側除染装置エリア内の水溜まりについて】 協力企業作業員が、作業開始の準備中にプロセス主建屋除染装置設置エリアにおいて、建屋内に水溜まりが発生していることを確認。 エリア内のタンク水位を確認したところ、洗浄水の保管タンクの水が無くなっていることから、当該タンクの下部から漏えいしたものと推定。 なお、確認された水溜まりは建屋内にとどまっており、建屋外への漏えいがないこと、また、現在漏えいが止まっていることを確認済み。 一時処置として、建屋南側壁沿いに吸水土嚢および吸水紙を設置。 今後、漏えい水の回収を行う。</p>	G II	8月9日
2	<p>【既設多核種除去設備(A)共沈タンク水位計配管の詰まりについて】 当直員が、停止中の既設多核種除去設備(A)共沈タンク水位の指示のふらつきを確認し、ろ過水通水による水位計配管の洗浄を実施したが指示のふらつきは継続。 現場を確認し、水位計の配管内付着物による詰まりが確認されたことから、これによりふらつきが発生したと推定。 なお、既設多核種除去設備(B、C)、増設多核種除去設備(A)が運転可能のため汚染水処理に影響はない。 今後、当該タンクの水位計の配管を清掃予定。</p>	G III	8月8日